

社会科

「暮らしの中の政治」 ～札幌市の雪対策～

H26年1月24日（金） 5校時
6年2組：教室 教諭 朝倉 一民

1. 雪の学習を成立させる教材化

北海道雪プロジェクトでは、「雪」を多面的・多角的に捉え、数多くの教材化を行ってきた。中でも札幌市の「雪対策」については、早期から取り組んでおり、札幌市建設局雪対策室の協力の下、除排雪におけるテキストや副読本の作成などを行っている。

4年社会科単元「安全なくらしとまちづくり」では札幌市民の冬の安全な生活を支える札幌市除排雪システムの教材化は市内小学校に定着している。

本授業で教材化したのもまた「札幌市の除排雪」であるが、本単元で学ぶのは、地方公共団体である札幌市や市議会が市民の要望や札幌市の未来を考えながら、市民の生活の安定と向上を図る働きをしていることを学ぶ内容である。したがって、単なる除排雪の仕組みを学ぶだけではなく、「市役所(市長)」、「市議会」、「市民」といった立場で札幌市の雪対策を多角的に見ることを重要視している。

現在の札幌市雪対策は、平成3年の「雪さっぽろ21計画」から始まる。豊かな経済予想のもと多くの設備投資を行う計画であったが、その後の少子高齢化、経済情勢の悪化などから、次の「札幌市雪対策基本計画」からは市民に優しく、また効率的な計画を掲げ、現在は10年計画の3期目「札幌市冬のみちづくりプラン」の下、雪対策を行っている。

しかし、その現状は「路上駐車などに市民のマナー違反」「ダンプトラックの減少・長距離」「雪たい積場の不足・郊外化」「作業員の高齢化」「雪対策予算」といった様々な課題も抱えている。市では今後の雪対策の継続維持のために「冬の市民生活ルールの確立」「排雪量の抑制」「除排雪体制の確保」「メリハリをつけた冬期道路の管理」「安全な冬期交通環境の確保」「冬の文化の創造」を重点とし、今後の雪対策の未来を見据えたプランを進めている。

しかし、市民においては未来的視点での雪対策よりも、現状での対策への不満も多く、市政世論調査では未だ「除雪に関すること」が第1位を占め、昨年度にいたっては40.6%にも達している。

そこで、今回の教材化では札幌市の雪対策の現状を市民の立場や市政の立場で調査し、またそれを議会がどのように結びつけているのかを考えていく。特に昨今急増している「民間除排雪サービス」を取り上げる。「民間除雪」は、企業の敷地や顧客の地域といった特定の場所の除排雪を行うが、ニーズは伸びており、市民の生活の除排雪の一躍を担っていると言える。今後の雪対策を考えたとき、「市」と「企業」の協働した取り組みは必須である。

本時は、雪たい積場が市専用と一般に分かれている事実から、市の意図や市民の思いを考えていく。「雪たい積場を共用にするべきでは」という、議会で話題になった部分を提示し、子ども達にも市民として考えてもらう。市が札幌市全体のことを考えて計画を立てていることや、個々の除排雪で困っている人々に議会が焦点を当てていることなどに気づき、市の雪対策がこのような政治で支えられていることに気づき、未来の雪対策に視点をもたせたい。

2. 単元の目標

- 日常生活における政治の働きに関心を持ち、調査や発表に取り組んでいる。
【関心・意欲・態度】
- 国民主権と関連付けて札幌市の働きについて考え、適切に表現している。
【思考・判断・表現】
- 市民の生活と札幌市の政治のかかわりを調査したり、各種の基礎的資料を活用したりして調べている。
【技能】
- 市民の生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることがわかっている。
【知識・理解】

3. 単元構成（6時間）

時数	児童の活動	
1 オリエンテーション	○公共施設ってなんだろう？ ・図書館・学校・道路・信号・公園… ■国や札幌市が市民の安定した暮らしを維持するために作られたものだ！	教科書をしっかりと扱い基礎的事項の習得
1	○4年前に屯田北小学校に「ミニ児童会館」ができた経緯を考えよう ・教科書…世田谷区の事例と比較して ■住民の思い(必要性)、予算計画、議会の承認があつてつくられるんだ！	
2	○札幌市の政治を調べよう ・札幌市公式HPから ・市役所の仕事 ・市議会委員、市議会の役割 ■地方政治は市民の願い・市役所・市議会の関係で成り立っているんだ	
3	○国や地方公共団体の費用はどこから？ ・租税教室…札幌地区租税教育推進協議会 ・税の種類 ・税の用途 ■札幌市の税金などが集まって、およそ8500億円がわたしたちの暮らしの安定のために使われている	身近な問題を取り上げ活用力を鍛える
4	○安心して暮らせるための制度やしぐみを調べよう ○札幌市の除排雪の取り組みから ・除排雪のしぐみ(4年生既習事項) ・札幌市北区土木センターに今年の状況聞き取り調査 ・家族や地域の人に除排雪の聞き取り調査 ■札幌市の除排雪には多くの課題がありそうだ	
5	○市の除排雪にはどんな課題があるのか整理しよう ・雪たい積場の確保が困難 ・除雪業者の高齢化 ・雪対策予算 ・ダンプトラック・除雪機械の減少、老朽化 ・民間排雪サービスの急増 ■様々な課題をどのように解決していくべきか？	
6 (本時)	○雪たい積場を市専用と一般に分けるのはなぜ？ ・幹線道路の除排雪を優先・雪たい積場の閉鎖を防ぐ ・安全のために ○議会では共用が話題になっている ○市がやること・企業がやること・整理・協力 ■市は議会や市民と相談しながら市民のための雪対策計画を行い、市民と協力しあうことを願っている	
7	○自分たちにできること、市民としてできることは？ ・市民の除雪のルールを守る ・地域で協力して除雪 ・雪捨て場の提供 ■札幌市の未来は雪と上手に共存していく意識が市民には必要だ！	社会認識の獲得

(1) 目標

- ・ 市民の冬の生活を守る取り組みが、近年の気象状況の変化、高齢化問題、トラック台数の減少、民間除雪サービスの増加といった課題をもちながらも、市が住民の安全や生活を守ろうとする取り組みに気づき、さらに今後の札幌市の雪対策について自分なりの考えをもつことができる。

(2) 展開

主な学習活動

教師の指導と評価・解説

前時まで…身内や土木センターを取材し、札幌市の除排雪の状況や雪対策室の「冬みちプラン」について学んでいる。

- フラッシュ型教材：重要語句の確認
- 雪たい積場地図の提示
- 【資料を読む】
- ICT…iPad 資料配付

24年度
74カ所(市専用)うち
31カ所(一般)



■25年度…72カ所中31カ所が共用たい積場

■民間排雪サービスが利用するのに経費はかからない

- ・思考の整理のためにポーン図を活用する
- ・子供たちの意見を、市役所、市民の立場で位置づけ構造を明らかに。
- ・考える手立ては、除排雪の仕組み、気象状況の変化、高齢化問題、トラック台数の減少、民間除雪サービスの増加など
- ファシリテーション…司会が多くの意見を促しながら合意形成や相互理解をサポートし協働を促進させる形態

○平成7年までは共用していたのに…現在は、分けられている！

どうして、札幌市は市と民間を分けているのかな？

【考えを書く】ポーン図…自分の考え多面的にまとめていく

市役所

- ・雪たい積場の閉鎖を防ぐ
- ・幹線道路の除排雪優先
- ・パートナーシップ排雪
- ・バス路線と通学路が大事

実は議会で話題に！

- ・バランスが悪い
- ・市民に開放しても
- ・民間排雪サービス増加

要望

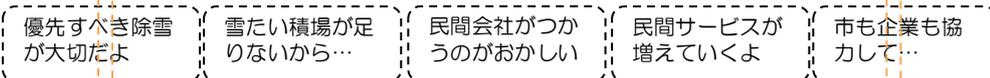
- ・勝手に捨てられたら混乱
- ・マナーが悪い・近い所
- ・ゴミなどを捨てる人も
- ・事故などを防ぐ

市民

指摘

この問題、みんなならどうする？

【ファシリテーション】…多くの意見を出して相互的に理解しよう



○雪対策室の係長さんのお話



市全体の道路の除排雪が第一、みなさんの協力が必要！

未来の札幌は？

自分も札幌市民として考えなければ…

30年以上も除雪が1位



■札幌市雪対策室

- ・実際の雪対策の現状を語ってもらい、その苦勞や課題を理解する
- ・現状から未来へ視点を切り替える。

【評】雪たい積場が分けられていることをきっかけにして、札幌市や市民の思い、それをつなぐ議会の役割に気づき、札幌市の未来を考えることができる。

札幌市の雪対策の現状は大変厳しい。だからこそ、市民や企業や市政が協力する

○ふりかえり～期待する子どもの考え

- ・自分たちの家のまわりをしっかりと除雪する。雪は敷地に。
- ・冬の生活を意識して活動する。

5. 本時の板書計画

どうして、札幌市は市と民間を分けているのか？

市議会

指摘

- ・バランスが悪い
- ・市民に開放しても
- ・民間排雪サービス増加

要望

- ・勝手に捨てられたら混乱
- ・マナーが悪い
- ・ゴミなどを捨てる人も
- ・事故などを防ぐ

協力

市役所

- ・幹線道路の除排雪優先
- ・パートナーシップ排雪
- ・バス路線と通学路が大事
- ・雪たい積場の閉鎖を防ぐ

市民

自分

- ・家のまわりをしっかりと除雪
- ・市の考えを理解する

74カ所中31カ所だけが民間業者や市民の雪たい積場

☆ふりかえりから民間排雪会社雪たい積場財政が厳しい

札幌市の雪対策の現状は大変厳しい。だからこそ、市民や企業や市政が協力する必要がある

まちのあり方

